

[noto] fonto: "Informilo de JBLE", N-ro 4, 1931  
reapero: "La Japana Budhano", N-ro 380-381, 2016

# JBLE創立大会史料

## 議事録および大会記録

### PROTOKOLO DE LABORKUNSIDO LA UNUA KONGRESO DE JBLE KIOTO 15 OKTOBRO 1931

#### A. 規約ニ關スル件

##### 1 目的

- (イ) エスペラントニヨル佛教ノ國際的宣傳
- (ロ) 佛教界ニエスペラントノ普及

##### 2 事業

- (イ) 年數回ノ機關紙發行 (但シ當分ハ四回位)
- (ロ) 臨時必要ニ應ジテ報告書ノ發行
- (ハ) 其他本連盟ノ目的ニ添テ各種ノ事業

##### 3(a) 會員

本連盟ノ目的事業ヲ贊シ後援支持スルモノヲ會員トシ、次ノ二種トス  
正會員 名譽會員

##### 3(b) 役員

- (イ) 理事長 一名
- (ロ) 理事 若干名
- (ハ) 會計 二名
- (ニ) 顧問 若干名

##### 4 會費

一口金一圓トシ、會員ハ一カ年一口以上ノ會費ヲ據出スルモノトス  
(以上修正可決)

#### B. 機關誌ニ關スル件

## 1. 表題ノ選定

<LA LUMO ORIENTA>ト決定

2,3,4,5,6ノ各件ハ京都在住ノ準備委員及理事ニ白紙一任

## C. 會計ニ關スル件

毎年十二月末日ヲ年度末トシテ、會計報告ヲスベシ、ト云フ内希望ヲ添ヘテ京都側理事ニ萬事一任

## Ĉ. 「佛陀」エス語根ニ關スル件

本大會出席者ノミノ短カキ討論ヲ以テ火急ニ決スベカラザルモノアリ、今後十分研究ノ上將來ノ決定ヲ俟ツコトトシテ保留

## D. 支部設置ニ關スル件

支部ニ關シテハ當分自然ノ發展ニ任セ適當ノ時期マデ何等ノ規定ヲ設ケザルコトニ一決

## E. 佛青運動ニエス語運動ヲ敏活ナラシムル件

佛青本部ニJBLEノ名ニ於テ決議ヲ送ルコトヲ可決

(撰文ハ理事一任)

## F. 第十九回日本エス大會佛教分科會ヘノ提案ノ件

大體ニ於テ佛教分科會ノ提案ト略同一内容又ハ別ニ論議ヲ避クベキ性質ノ項目モアリ、本連盟トシテハ特ニ何等ノ提案ヲセザルコトニ一決

## 臨時提案

I JBLEハ略字ノ發音困難且ツ耳觸リナルヲ以テJEBLト改稱シ度シ (中西氏提出)

贊成者少數ニシテ否決

II 佛教エス語連盟ノ會員ハローマ字綴り方ハ日本式ヲ用イラレタシ (河野氏提出)

採決ヲ見合せ保留

III 佛教各宗ノ機關雜誌又ハ普通ノ佛教雜誌ニ連盟カラ相談シテtadadeエス語宣傳ノ廣告ナリ記事ナリヲナルベク多ク載セテモラフ様ニスルコト (河野氏提出)

コレニ就テハ各々努力スル様申合ス。

# LA UNUA KONGRESO

## 大會記

待ちに待った大會はついに來た。十月十五日！ JBLEの前途を祝福するかの如く朗らかな秋の陽光とともにその日は訪れてきた。京洛の秋、而もその名も麗しき東山眞葛ヶ原の一隅佛教兒童博物館に於て吾等の連盟の第一聲は叫ばれたのであった。

### 發會式

★定刻二時 kongresanoj 一同 kongresejo なる別館に着席。最初太宰氏結成委員を代表して挨拶、ついで prezidanto として柴山氏、sekretario として太宰氏推されて記念すべき第一回大會は始まる。

★エスパーロ合唱 佛教聖歌

この一時こそ、すべての kongresanoj にとって最も感激の一刻であったことだらう。

★ついで大會のために遙々遠くより入洛せられたる JBLE-anoj 諸士の挨拶はつゞく：

竹内藤吉氏（石川）

中西義雄氏（福岡）

藤谷勳氏（兵庫）

谷山弘藏氏（青森）

南昌世氏（三重）

服部保氏（三重）

★エス會代表挨拶

龍谷大學エス會 伊藤勝隆氏

臨濟宗大學エス會 對本愛道氏

大谷大學エス會 甘蔗要氏

高倉エス會 南島慧沖氏

BLE日本代表 柴山慶氏

★祝電並びに書面披露 (Dankegon al tiuj, kiuj bonvolis sendi al la kongreso gratul-telegramojn aŭ leterojn.)

慶應佛教青年會、勝枝利純氏、無名氏、友松圓諦氏、淺野三智氏、河野誠惠氏、平野利助氏、稻葉道壽氏、眞保壽一氏、原山武氏、池浦良雅氏

-----  
斯くして記念すべき我等の連盟の發會式は終る。

## 記念撮影

發會式終了後 kongresanoj 一同音樂堂前にて東山を背にして記念撮影。

## 協議會

ついで本館樓上廣間に於て協議會開催。柴山議長を中心に和氣藹々の中に協議は進み、午後六時 TAGIŌ 合唱とともに閉會。

(編集者註 この「大会記」においては新漢字と旧漢字が混淆して使用されているが、ここではすべて旧漢字に統一した。)